



Press-release/E-flashから

『ITUジャーナル』編集部

Press-release

① 9月28日：

電気通信とICTの将来を決める第17回全権委員会議

Setting the course for the future of telecommunications and ICT ITU prepares for 17th Plenipotentiary Conference

(出典：http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2006/NP08.html)

ITUの第17回全権委員会議が2006年11月6-24日にトルコのアンタルヤで開催される。この会議には、地域的または世界的な組織はもちろんのこと、政府及び民間セクターを代表する150か国以上から2000人の参加が予定されている。

この会議は、ITUの新たな構想及び方向性を打ち出し、電気通信及びICT (information and communication technologies) の世界的な成長を促進するために開催される。また、電気通信セクターとICT産業界が手をつなぎ、新しいトレンドに収斂することが期待されている。ITUの全権委員会議は、4年ごとに開催され、ITUの戦略及び経済計画を採択し、必要に応じ産業界における現在並びに将来の展開を考慮して新しい方針を打ち出す会議で、ITUの舵取り役が選任される。

アンタルヤにおける全権委員会議では、以下のような数々の難しい問題に決断がなされる予定である。

- ・ ITUの連邦構造の見直しによる組織改革
- ・ ITUが計画を遂行する場合の役割は、WSIS (the World Summit on the Information Society) で説明されており、多くは、デジタルデバイドを効率的に橋渡しするために、包括的、公平、人間中心の情報化社会を確立することを目指した広い展望を求められること
- ・ WSISで掲げられた期待を前提として、市民社会を含む新たな利害関係者に活動への参加を広げること
- ・ 世界的なICT情勢におけるITUの卓越した役割を維持するために、情報化社会の問題を包含するようITUの権能を拡大すること
- ・ ますます増加する活動を実施するには追加資源を必要とし、変化するICT環境へ対応する必要があるにもかかわらず

ず、ITUの予算を概略ゼロ成長の構成で帳尻を合わせることに

E-flash

ITU-T e-flash Ussue No.27 (10月27日)

(出典：<http://www.itu.int/ITU-T/e-flash/027-oct06.html>)

・ ITU-Tで最も影響力が大きい標準化は、ビデオコーディング Video Coding Work voted most influential

本記事の内容は、本号トピックス欄に掲載されているのでここでの掲載は割愛する。

・ 仮想的組織の創設:通信とグリッドに関するワークショップ開催

Creating Virtual Organizations : A Workshop on Telecoms and Grids

ITU-Tは、2006年10月23日から24日まで、ジュネーブにおいて、オープン・グリッド・フォーラム (OGF) と共同で、NGN及びグリッドに関するワークショップを開催した。

・ 7月のNGN-GSIの催し

July NGN-GSI event

NGNグローバル・スタンダード・イニシアティブ (NGN-GSI) の主催によるITU-T SG会合が、7月、実質的な作業を終え、16の新しい標準が、ITU承認手続きの最終段階に入った。

・ 3Gを用いたテレビ電話、壁を打ち破る

3G video calls : Barrier lifted

第三世代の装置を用いたテレビ電話の速度を上げた新しい標準がITU-Tによって発効された。本標準は、ITU-T勧告H.324のアネックスKに記載されている。

・ 国際ドメイン名用ホームページ

New webpage for internationalized domain names (IDN)



国際ドメイン名 (IDN) に関する作業の進捗状況に関する情報ホームページがITU-T SG17から発行された。このホームページでは、これまでの成果が図表で示されており、IDN分野に関する知識を得ることができる。

・新しい移動体の標準

New mobility standard

移動体通信及びフィックスド・モバイル・コンバージェンスを扱うITU-TのSGが、一つの標準を発行した。この標準は、ユーザーがどこに移動しようと同じ種類のサービスが受けられるために必要な機能を記述したものである。

・基本的なNGNの要求書、最終化

Fundamental NGN requirements doc finalized

SG-13会合で作成されたITU-Tの最重要勧告の一つが、高レベルの要求とNGNのための関連機能を仕様化した。要求の定義は、標準化プロセス中、基本的で、本質的な部分であり、本ドキュメントは、NGN作業 (特に、NGNリリース1) を進めるために必要な基本的な事柄を概説している。

・NGN機能構成が、重要勧告に記載

NGN functional architecture described in key Recommendation

7月のSG13会合で承認された勧告Y.2012は、NGNの機能構成が記述されており、これらのNGN構成は、マルチメディアサービスや会話サービス、またコンテンツサービス (ビデオストリーミング及び放送サービス) などのサービスの配信を支援するものである。

・新規ITU標準、NGNのサービス品質を追加

NGN QoS tackled in new ITU standard

7月のNGN-GSI会合で作成され、新しく勧告化されたITU-T勧告 Y.2111は、端末間のサービス品質というNGNにおける一つの重要な問題を記述している。

・G-PONのためのサービスレイヤーインターオペラビリティに注目

Service layer interoperability for GPON highlighted

カリフォルニアのサンタクララにあるKTL (独立系試験設備) において、ITU-T勧告G.984 (受動的光ネットワークに関する勧告) に基づいて装置間のインターオペラビリティのデモンストレーションが行われた。

・SG9東京会合において、家庭用ブロードバンドサービスのデモンストレーション

Home broadband services demo for SG9 Tokyo meeting

今回のITU-T SG-9会合に併設して、家庭へのブロードバンドサービスに目を向けた技術に関するデモンストレーションが行われる。この催しは、2006年10月2日から3日にかけて、東京の京王プラザホテルで行われた。

・VoIPのためのマルチキャスト

Multicast capability for VoIP

ITU-Tの新しい標準が、VoIPにマルチキャストの機能を追加することとなる。これは、ITU-T勧告H460.21が、VoIPの勧告として世界的に広まっている勧告H.323にマルチキャストの機能を与えるもので、専門家によれば、特に災害予報に関して、迅速な警告発出に有効であると述べている。

・IPTV検討グループ、本質的討議を終了

IPTV group completes essential output

7月10日から14日のジュネーブにおいてIPTV-フォーカスグループ会合が開催され、世界の主要なICT企業から150の参加者を得、IPTVに関するITU-Tの作業が大きな進展を見せた。

IPTVは、世界中のメディア企業、サービス提供者が現在のサービスに新しい価値を加えるものとして注目されており、この標準が世界的に受け入れられれば、ある地域の放送業者が簡単にコンテンツを他の別の地域の業者に配信するというようなことが可能となる。